

【上京区】樂美術館、裏千家茶道会館

市内のお茶コース①「器と茶道」

定員：30名



「茶道」とは伝統的な様式に則って客人に茶を振舞う行為で、別名「茶の湯」ともいいます。単に抹茶を飲んで楽しむだけでなく、他に様々な文化が加わって発展を遂げました。本コースでは樂焼という陶器を通して、茶道に触れていただきます。また、裏千家茶道会館では、茶道流派の一つの裏千家のお点前を拝見し、茶の湯の解説も拝聴いただきます。

樂美術館

行程

※行程は予告なしに変更することがあります

9:40（集合） 地下鉄今出川駅改札前

10:00 -11:00 樂美術館 見学 ===== 貸切バス =====

11:15 -12:30 裏千家茶道会館 お茶席体験（現地解散）

〈注意事項〉 茶道会館に入室するため、靴下を着用してください。

樂美術館：樂焼窯元、樂家に隣接して建てられています。初代長次郎以来450余年、樂家歴代の作品を中心に、樂家に伝わった茶道具工芸品、関係古文書など所蔵品は1200点を超えています。当日はICOM京都大会期間中に開催する「秋期特別展 樂歴代 魂を映して Mirror into the Soul -Raku Tea Bowls through the Ages-」をご見学いただけます。

樂焼：一般的にろくろを使用せず「手捏ね」（てづくね）と呼ばれる方法とヘラで削る方法で成形した後、750℃ - 1,100℃で焼成した軟質施釉陶器です。狭義には樂家の歴代当主が制作した作品をさす場合もあります。

裏千家茶道会館：茶道会館でお茶席体験（お点前の拝見、茶の湯の解説の拝聴）を行っていただきます。



樂焼



裏千家茶道会館